

コロナ禍でも地域で団結

諏訪町会「子ども縁日」開催

諏訪町会では、令和4年8月27日（土）、「子ども縁日」を開催しました。

例年、諏訪神社において、礼大祭を開催しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止になりました。

このような状況の中、地域の子も達に「神輿を見せたい」という強い思いから、諏訪神社の境内において、神輿に触れ合う機会をつくるとともに、子ども縁日を企画、開催しました。

【諏訪町会 会長 白子会長】



新型コロナウイルス感染症の影響により、地域のお祭りなどが中止となっています。最近、地域の子も達からは「神輿を知らない、見たことない」という声を聞くようになりました。

こうした状況の中、地域として「何かできることはないか」という思いで、子ども縁日を企画、開催しました。

開催にあたっては、地域の子も達がとにかく安心して楽しめるよう、手指消毒の徹底をはじめ、縁日で使用する道具の消毒も行うなど、地域の方々の協力も得ながら、感染対策にも配慮し、実施しました。

当日は、晴れやかな空のもと、多くの子も達が集い、みんなの笑顔で溢れていました。

コロナ禍でも、「地域で団結して、工夫しながらやればいろいろできる！」そう強く思いました。

【当日の様子】



使用する道具は丁寧に消毒



手指消毒の徹底



当日の様子 多くの人で賑わう